

「婦」と「師」：看護婦と看護師

気高い心の崇高な～天幕に待つは日の本の 仁と愛とに富む婦人～から
技術を有するだけの作業職業人となった感があるのは残念といわねばならない。

手元の辞典の概略記すと；

白川静常用字解 2003

師；旁は戦勝祈願の祭の肉。偏は軍守護霊の肉を携行するために切り分ける刀。師は切り取ることで、その権限を持つ者すなわち軍長・將軍。將軍は現役引退後若者の教育に当たったので“せんせい”の意味に用いる。

士；象形文字で身分を示す儀礼用の鉞の頭部。士は王に使える武士階級。戦士・兵士のほかのちに官吏・裁判官・男子に用いられた。

婦；旁は木の先端を細かく切り裂いて香酒を振りかけた、廟を祓い清めるための道具。婦はその重要な職分を担当する女。

角川国語中辞典 昭和 48 年

師；軍旗のもとに集まった軍隊。転じて多くの人の意。①いくさ・師団。②多くの人③大衆を率いる人。医師・教師。

士；男の性器象形。一人前の男。①りっぱな男。名士・紳士。②官吏や何かの資格を持つ人。学士・代議士。接尾でその仕事を専門にするものの資格や人の意。運転士・栄養士・機関士。

岩波漢語辞典 1987

師；偏は集団、旁はあまねし。多人数の集団、転じてその長。①人の手本となる人。牧師・師範・法師。②一芸に優れた人。漁師・表具師・医師・講談師。③軍隊。師団・出師。

士；男の性器象形。学徳のあるりっぱな人。女子にもいう。名士・居士。②役人。③兵卒を指揮する者。④ある資格を有する者。

婦；「説文」は家の掃除をする者とするが、もとの意味とははなはだ異なる解釈であると、白川静常用字解にある。成人に達した女子。

日本語大辞典 講談社 1989

師；①おしえみちびく人。恩師・導師・師弟。②その仕事をする人。医師・絵師・庭師・詐欺師・勝負師・美容師・薬剤師。

士；男の敬称。特別の資格・職業の人文士・博士・弁護士・公認会計士。③さむらい。下士官・武士・士官。